

数学は略称が好きです。

中学一年で学んだ

$y=ax$  は **比例** と名付けられました。

中学二年で学んだ

$y=ax+b$  は **1次関数** と名付けられました。

その結果、

$y=ax$  は、1次関数の **b** が **0** の時、と言い換えられました。

中学三年で  $y=ax^2$  を学ぶと

$y=ax^2$  は、 $y$  は  $x$  の2乗に**比例する**、と呼ばれるので

$y=ax$  は、 $y$  は  $x$  に**正比例する**と呼ばれるようになりました。

数列の和についても

同じことが起こっています。

## 級数

数列を **+** 記号で結んだ形を **級数** と言います。

数列の個数が有限か無限かは関係ありません。

無限個の数列の和を **無限級数** と言います。

初項から第  $n$  項までの数列の和を

**級数の部分和** と言います。

新しい名前が付くと

何かしら新しくなるような気がしますが、

さほどのことはありません。

**級数** は無限個の数列の和

を考えるときに使われ始めるので、

級数と言えば

無限級数を言ってるような **気がする** のです。